

2026 年度サマートレーニングプログラム (大学院高度情報学：タイ KMUTT)

研修内容 昨今の技術のグローバル化に伴い、工学系大学の学生にも専門知識だけでなく、異文化の中で意見交換、相互理解をして切磋琢磨する機会はとても有効である。そこで、情報分野における課題解決に関する研修を現地の教員・学生と一緒にサマートレーニングプログラム（以下「サマトレ」）を企画している。現地滞在中の研修に加え、文化遺産見学などが予定されている。また、ICT(Information and Communication Technology)を利用したグローバルな協同作業を通じた事前、事後研修も計画している。

条件:

- ・ **情報学分野の研究に興味がある大学院生**で、ある程度のプログラミング経験を有することが望ましい。（情報学専攻以外の学生も可）
- ・ 心身共に健康であり、外国人とのコミュニケーション能力を有すること。（目安：TOEIC550程度）
- ・ 海外研修に参加しても修了等に必要な単位の履修に問題がないこと。
- ・ 留学先の研究室では机やイス等は提供されるが、自分の専門性や興味関心に基づいた研究指導が受けられるとは限らないため、**自分一人でも研究を進められる力や準備**が求められる。
- ・ 国際交流推進センター主催の渡航前の事前研修（海外渡航の基礎知識、危機管理、渡航先の歴史や文化等）及び事後の成果報告会での報告を行うこと。
- ・ 安全保障輸出管理（学内限定）の手続きを行うこと。

研修場所:タイ(バンコク)・キングモンクット工科大トンブリ校[KMUTT]

募集人数: 2名+a（希望者2名超の場合は受入先との調整になる）

派遣日程:現地最短16日～3か月程度。現地受入研究室と派遣希望学生の都合で調整可能。

単位: 大学院海外研修Ⅱ：2単位

事前研修及び成果報告会への参加、留学報告書及び週報の提出が要件（参考：語学留学）

宿泊: 派遣先大学の学生寮

【経済的支援について】

タイは物価がそれほど高いわけではなく（日本に比べて安いわけでもありません）、学生寮への入居が可能であることから、JASSO 協定派遣（滞在費）及び途上国派遣渡航費支援（フライト実費）を利用できる場合には、参加学生の自己負担はほぼゼロになる見込みです。

- ・ **JASSO 協定派遣** 成績要件（前年度 GPA2.3/3.0 以上） あり。日本国籍又は永住者。
参加日数 16 日～31 日：9 万円（ランゲージパートナー要件あり（参考：語学留学））
参加日数 32 日～62 日：18 万円
参加日数 63 日～93 日：27 万円（以後 31 日毎に 9 万円追加）

- ・ **電気通信大学基金による海外への学生派遣助成事業**

JASSO 協定派遣やその他（東京グローバルパスポート等）の奨学金が支給されない場合は、研究留学に対する UEC 基金による支援の対象になります。

- ・ **途上国派遣渡航費支援**

以下に協力する学生には、渡航費（往復フライトチケット代金）を実費で支給します。（支援枠に限りがあるため、先に派遣が確定した学生から支援します）

- ・ 海外学生交流コーディネーターの指定するアセスメントテストや調査等
- ・ 海外学生交流コーディネーターの指定する国際関係イベント等（日程が合う場合のみ）
- ・ 海外学生交流コーディネーターの指定する国際広報活動等（できる範囲で良い）

※海外学生交流コーディネーターの研究費で渡航費支援を行うため、その対価として各調査や活動にご協力ください、という趣旨です。大きな負担にはならない範囲です。

応募 Google フォーム(gl アカウント限定) : <https://forms.gle/ZtXUQR8D7rYX8JhLA>

応募締め切り: 5 月 28 日(木) 24:00

【その他の留意点】

- ・ 日本人はビザ免除での渡航を想定しますが、当初予定 60 日超の滞在では「留学ビザ (Non-Immigrant ED)」が必要になります。また、当初予定 60 日以内の渡航でも、KMUTT 側より留学ビザ等の取得を要請された場合には、当該ビザの取得が要件になります。
- ・ 日本国籍以外では、タイ入国のために渡航期間に関わらずビザの取得が必要なケースがあります。外国籍の方はお早めに相談ください。
- ・ 渡航先の歴史、文化、風土、習慣等を尊重ください。
- ・ 渡航先での違法行為は絶対に行わないこと。

担当・問い合わせ: 海外学生交流コーディネーター 安西

留学相談予約 : <https://www.fedu.uec.ac.jp/studyabroad/soudanshitsu/StudyAbroad-booking.html>

Email による相談 : r-anzai@uec.ac.jp